

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
合同会社 知養 (かもん丸)		令和7年 3月 7日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	4	◎1F/2Fにそれぞれスペースがあるが、目的に応じて使い分けるなどし、支援に繋げている。	職員の意識レベルおよび支援スキルを向上する形で支援スペースの適切利用が行われるよう努力する。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10	1	◎配置人数にバラつきはあるが、基準は満たしている。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	3	◎完全とまではいかないが、特性に応じ配慮している。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10	1	◎清潔に保つため清掃を心がけ、各室内での活動に合わせている。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	7	◎個別室の場所はないが、衝立で仕切るなどの工夫をしている。	個別ブースは管理監督が難しく、拘束と取られかねないので事業所としては設置は考えない。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	6		◎計画/実行/評価のサイクルは現時点では努力目標である。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	2	◎連絡帳・電話・LINEなどによる家庭連携および家庭状況の把握に努めている。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	5	◎朝のミーティングやLINEワークスなどを活用することで、情報共有⇒業務改善に繋げている。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	9		第三者による外部評価を取り入れより良い業務遂行が実践できるように対応する。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	11		◎研修や受講など社内ミーティング以外の参加などで資質向上に努めている。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10	1	◎申し送り帳などにより、各自での把握に努めている。	◎事業所単位でのミーティングだけでなく、全社ミーティングなどの開催も検討する。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	10	1	◎日々の記録などに基づき、事業所内および家庭との情報共有をしていくことで、適切な計画立案に繋げている。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10	1	◎各職員の意見を考慮し、検討している。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10	1	◎日々のミーティングなどで、各サービス計画がどのように進捗しているか考え、共有されている。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	2	◎文字カードやフラッシュカード、ペダル踏みなどの器具・道具による支援や日々の利用児の言動などから状態の把握に努めている。	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	11			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10	1	◎ミーティングやLINEなどで情報共有・意見交換を行いながら、立案⇒共有している。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10	1	◎利用児の状態を確認しながら、スケジュールを組み立て、実践している。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	10		◎記録に基づき、利用児の状況に応じて個別での読書やパズルなどの活動、集団での公園活動や買い物など適宜支援している。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10		◎朝のミーティング時に予定の確認やスケジュールなどの情報共有を行っている。	

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10	1	◎基本的には記録として残すが、気づきなどは記録だけでなく、振り返りとして残った職員で共有⇒申し送り帳で全職員へも周知している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10		◎日々の記録は必須。アプローチが固定化しないよう、各利用児持ち回りで記録を残すようにしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	8			
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	10		◎事業所での基本的ルールを定めた上で、スケジュールリングなどある程度の裁量を利用児に与え、日々の活動を行っている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10		◎関係機関連携や部会など然るべきスキルをもった職員が参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	1	◎適宜、学校/家庭/各事業所/相談支援員とコンタクトをとっている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	10		◎各学校が配布するお知らせプリントやHPなどからの情報把握に努めている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9	1		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	10			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	10			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	9	1	◎ハロウィンや地域の餅まきなど、まれに他事業所と合同での行事参加などに取り組んでいる。	◎利用児の社会性を上げるために、頻度を上げられるよう、前向きに検討したい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	1		
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10		◎送迎時に保護者へ事業所での様子を発信、家庭での困りごとをヒアリングしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	2		◎今後、研修会や保護者交流会などを積極的に開催していく予定。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	1	◎誤解のないよう、丁寧な説明を心がけている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10		◎現時点での困りごと改善だけでなく、進学・就労支援など将来の進路を見据えての情報共有やヒアリングを心がけている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	10		◎計画を説明しながら、保護者や本人の意向の確認に努めている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	2	8		◎今後積極的に取り組んでいきたい活動。広義による社会的係りを実施していきたいと考える。 ◎家族支援の重要性を意識した取り組みを実施するよう取り組みたい。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10		◎問題が長引かないよう、迅速な対応を心がけ、誤解があれば納得いただけるまで説明に努めている。合わせて、再発防止についても提案している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	9	2		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10			

	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	4		◎今後積極的に取り組んでいきたい活動
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	1		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9		◎アセスメントなどに基づき、各職員が把握できている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	1		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	1		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10		◎気になる事案など発生した場合は都度事業所内で共有し、状況の把握に努めている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9			